

令和7年度 第2回 学校運営協議会（記録）

- ◆日 時 令和7年12月18日（木） 10:00～12:00
 ◆場 所 本校会議室
 ◆参加者 出席 10名 欠席 5名

◆議事録

内 容	発言者	記 録
日程説明	副校长	・今日の予定について説明する。
校長挨拶	校長	・2学期に実施した主な行事について紹介する。 ・感染症の拡大や、大きな事故なく過ごせた。 ・今日一日、よろしくお願ひしたい。
説明①及び協議 ・学校評価アンケート結果について	副校长 校長	・学校評価アンケートの結果については、教職員、保護者、関係機関（療育センター、療育園）それぞれの【総括】に記載してあるとおり。 ・関係機関（療育センター、療育園）には、別途説明をする機会を設けたいと考えている。 ・全国肢体不自由教育研究協議会で地域連携の分科会に参加した。全国的に地域との連携に苦労されているとのことだったが、本校は、地域との連携が非常によく取れないと感じている。
説明② ・第71回全国肢体不自由教育研究協議会について	副校长	・学校紹介ビデオの紹介 ・3日間学校公開し、参加者から好評を得た。
説明③ ・2学期の教育活動について	副校长	・「n o t e」の記事を使用して「教育実習」「避難訓練」「遠足」「参観日」「アイヌ音楽会」「春光台公民館出品作品」「自立活動展示」「ベルマーク贈呈式」について説明した。
休憩		
授業参観	副校长	・小学部交流学習の様子見学
協議 ○交流及び共同学習について	副校长	＜学校間交流＞ ・学校間交流は、学校同士で進める交流学習である。 ・本校高等部が教育大学の吹奏楽団と交流することができた。 ・春光台中学校生徒会との交流については「n o t e」に記事を掲載している。 ・旭川聾学校との交流では、聾学校の総合的な学習の時間の一環として実施した。 ＜居住地校交流＞ ・居住地校交流は個別交流であり、学校が調整して、保護者と子どもが居住する地域

		<p>の学校と行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・居住地校交流は、多いケースで年間3回実施し、教員も1回同行している。
	A委員	<ul style="list-style-type: none"> ・娘(5年生)は、小学校3年生まで在籍していた小学校と居住地校交流を実施した。久しぶりに友達と会って、たくさん声を掛けてもらった。近所で会っても名前を呼んでもらえている。居住地校交流は続けていけたらよい。
	B委員	<ul style="list-style-type: none"> ・私の息子が小学部在籍時は、そこまで居住地校交流自体が認知されていなかつた。地域とどのようにつながるか、親として思うことはそれぞれ異なると思う。
	C委員	<ul style="list-style-type: none"> ・現職(元校長)のときは、養護学校とはちつきや学芸会などで交流を行っていた。当時は、居住地校交流は行っていない。受け入れる方も大変なのではないか。できることから始めていくのがよいのではないか。
	D委員	<ul style="list-style-type: none"> ・最近は、地域の学校に車いすを使用して通う児童生徒が増えてきた印象を受けている。伴って、介助する大人が必ず配置されるようにもなった。このことが、車いすを使用する児童生徒に同級生を近寄り難くしてしまっていると感じる。場所や時間を設定して交流させようという感じではなく、もっと自然な形で友達同士が交流することはできないか。
次回の予定	副校長	<ul style="list-style-type: none"> ・次回は2月実施を予定している。 ・次回は引き続き交流及び共同学習について、共生社会をどう作っていくかについて熟議をしていきたい。
その他連絡	E委員	<ul style="list-style-type: none"> ・2/8(日)に春光台地区「夢あかり」を実施する。養護学校にも雪像制作など参加してもらいたい。
	D委員	<ul style="list-style-type: none"> ・2/14(土)ボッチャ大会を開催する。
校長挨拶	校長	<ul style="list-style-type: none"> ・謝辞
閉会		